



5/30(土)

ZOOMで初

第70回 青年部大会開催



初ZOOMの大会で、初参加のなかまといっしょに「え」と喜ぶ中村青年部長と金井書記長

全国TのA青年E組！合は、し重措一がす体妊校校か母と学いに主教のれ今提項には、全TのA青年E組！合は、し重措一がす体妊校校か母と学いに主教のれ今提項には、

いて教青組移議さ組検層化経べし方 い部のこな制常 加新ま新 開いNもたいのにまま催京年するめび流員き育組年のし論れ合討大し験テくで青まの体数つと任一入採し年臨催まEあ仲、教集でしさでは、場らを・とまて一組明てさて活委切てでうな常年し細制年て極は方が者た度時はし！り間考育まのたれ開東昨でれ深学交



県教育との青年部交渉今年もやります

へ(以交年イ動を年総とに入今見るためしたの参下、流集一ト中まのし部括か参さ回この中での参加です。TANENE!)全なる特。に時0たやではきました。垣間の！学教、なの報け度た大規

最近加入した人も参加し交流



第2197号
編集兼発行人
埼玉県教職員組合
情報宣伝部
さいたま市浦和区高砂
3-12-24教育会館内
電話048(824)2511
(一部 10円)
毎月15日発行

埼教組メールアドレス
saikyouso@
kyouiku-net.org
埼教組ホームページ
http://
www.kyouiku-net.org



学校再開～課題と要求が明らかに～

現場からのレポート

しくの教なつすれ少う3こ業界一でわのの分喜も
た安心師がも。ば人こ人とで。コ落か子教散びた学
い心になら子と数とグやはと口ちりど室登をち校
と感寄らの上と、学がル知、いな着、もで校感とが
思のり誰スにも悔級で1り互うとい授のはに授再
うあ添もタ不たしにきづたい社私て業様、よて業開
のるいが1安ちいなまでの会たいが子ーるいがしま
で学、子トをは思つし話こ不科ちま和が人少まで、木
は校楽どで抱、いてたしと安ののすやよ一人すき子
なにしもすえいはい。合をな授世。かく人数。ると夫

楽しく安心感のある学校にするために



回あめて定る但もにす査県に 感が学間が と校業
答るるはな学し県求るーはも再すい校こち教笑に措コ
し。こ取で再コーてう7県かが光こ子る揃か声どがナ
たーとり、開口実き市月学わ間景そど。拶らかも緩感
こともや。場のナ施た町ま力らもだ学もそや少戻た和染
合状感す。村で、すなつ校たれ笑しつちさ防佐沢
に況染る所やに学、いただちでい遠てのれ止藤小
よがに方沢学実習埼時。とたも声慮き笑、の幸
つ末よ向市校施調玉期 実ち、がした顔学休二

子どもたち、教職員の学校生活の回復を優先して

せ問職成教異で問常へ作 後 てしたがも議イ以委になガの い
て。員を員常統授授ト業 ののく。ら加をン上員こいイ直市で
く。一會すはさく業業。に306、し新え経案議会口なド前教し
だ。一検議るい。授がに3若分時マか学、てを論をナかうま委よう
い討でつ。一業学な週いは間スし期合、作し開感、イでかう
「さ質で通こ時期れ目教か業を現迎を々。力、対時が校学。
す知れ数未ばか員か業を現迎を々。力、対時が校学。
か表で確直、らもるや着実え作な職イ3策休示生校
「のは保前6のへ消放用はまり修員ド時の業さ活再
と作、のま時通ト 毒課し厳しな正会う間小中れの開

いのえとほ声すかわ「何15と分方番と割んく教時縮3と
ま出てをしを。けいこ「人分には、は、な要振。来員のに日校
す番い校い上おてそれ。こにも長は、30で、ど求、一なが健な間長。
だく長ーげかくうでは、いまは、退、勤務を解き、まず、4月
と、やと、しるだは、いまは、退、勤務を解き、まず、4月
日ま市皆「い教、子、いまは、退、勤務を解き、まず、4月
々さ教がこともともすき。員、4時、15た当、のせ早、校短ら
感に委思うともともすき。員、4時、15た当、のせ早、校短ら
じ組にうしにい話が、て合伝こてはましか、

は め沢施県延え私 中団止教学 に負の子てそいやよ学なしちと
し分るでは学長、た5止体を委調所認担どはのて体り習学いはを
た割この中調の1ち月をも求に中沢めを安もな回い力、意習生長聞
もとと県止の事週の末要こめ提止市ら増やたら復る低人欲習活期い
のいが学「態問要、請れた出要教れす教ちに。下間の慣習休た
のうで調を市等の請所に。し請組なこ員へい努学に閑低が慣業。
、授き実決内を分行沢た呼市て書はいとのの時力校不係下損やで子
新業た施定一考割動市。応内実、。は仕学期し現安づはな継規ど
た再。を。斉慮登には、し教施を「絶事習にな場をくもわ続則も
な開 止所実し校加、て育中市県 対のへ、くは抱りとれ的正た

ばけと場に中なは捨活ら きし教す事消教どに間間指校し一本課
なたにアして持選動こ「た、職る態毒室も張す中導指て2市題
ら取、ンた働かつ択はそこす健員もだをやのりら、ま導い部はも
なり今く学く「こす何、う。康の、かす廊入付取教でかる式3生
い組後1校教「とるか本にに労常らる下れきれ職のら。授密れを
とみ、ト運職非が勇を当もも働態「等、替状す員受48業をて
考を改の営員常必要をえ必態 悪負化と「イ前だ子休入の前を避
え進善声を事要をえ必態 影担す理「イ前だ子休入の前を避
るめにを「大態で学、要だ 響はれ解非しに。ど憩れ下の実ける
ね向も職切のは校取なか を増ばは常のは子も時時校登施た

草莽崛起の時(わ) 倍首相は「恣意的な 人事の懸念はない」と答弁した。それは、
園客員教授が文部科学省、元加計学園監事、元最高裁判事、加計学園理事長が後援労働省という現実をどう説明するのか、
安倍政権は、NHK会長や経営委員、日銀総裁に自分の思想や政策が重なる人物をすえ、果ては自身の憲法解釈を認める人物を内閣法制局長官にすえた。小淵優子元経済産業相、松島みどり元法制相、甘利明元経済再生担当相、下村博文元文部科学相、佐川宣寿元国税庁長官の諸問題など枚挙にいとまがない。▼桜を見る会や河井参議院議員の買収、黒川氏の軽すぎる処分、政府専門家会議の議事録、持続化給付金「2億円中抜き」まで出てきた。日本の民主主義が壊れてしまった感さえする。今こそ草莽崛起の時(わ)

けやき 例付きの検 察庁法改正 案を国会に 提出した安

